



妙高市立妙高高原北小学校

第3号

学校だより

平成29年7月1日

まだまだ続く…「あたり前のこと」



これが、学校のどの場所か分かりますか？ 学校の体育館玄関です。写っているのは2年生の長靴です。生活科の野菜づくりで畑で活動するときなどに、この長靴を使っています。

実は、この長靴、今年に入ってから、一度も揃ってなかったことがないのです。私が見るときは、いつもきちんと揃っているのです。どうして、いつも揃っているのか、その秘密を私は知りません。一人一人が、自分で揃えているのか、それとも乱れているのを仲間の誰かが直しているのか、あるいは担任がいつも「きちっと揃えましょう」と話しているのか、ひょっとして最後に担任が乱れた長靴を揃えているのか…。

先日の6年生の佐渡への宿泊体験学習でも、こんな姿が見られました。昼食場所での出来事です。座敷でしたので、子どもたちは靴を脱いで上がることとなります。多くの子どもは靴を揃えていくのですが、全員ではありませんでした。すると、友達の乱れた靴を直していく子どもが必ずいるのです。特に1日目は、北小の他に4校の子どもたちも同じ昼食場所だったので、かなりの混雑でした。しかし、北小の子ども靴は揃っているのです。何人かがトイレに行った後も、いつもきちんと揃っているのです。

4月に子どもたちに話した「あたり前」の具体例の一つが、靴を揃えることでした。もちろん、私が話したことだけで、子どもたちのこのような姿が見られたとは思っていません。きっとこんな行動ができるのは、家で教えられ、また家の人たちの姿を見ながら自然と身に付け、本人にとって靴を揃えることは既に「あたり前」になっているからでしょう。こういう子どもは、きっと一生、靴を揃えるということを特別のことと感じずに「あたり前のこと」として繰り返していくでしょう。素敵なことですね。

今、目の前の姿だけでなく、子どもたちの将来を考え、「素敵なあたり前」を増やしていきたいものです。

6月の学校便りでお知らせした「あたり前のこと」の一つが、『笑顔のあいさつ』でした。こちらは、その輪が確実に広がっています。スタートは6年生。今は、校門で待っている私にニコニコしながらあいさつしてくる5年生が急増中です。

次にねらっている「あたり前のこと」は、話の聞き方です。人の話を真剣に聞くことがあたり前にしていきたいです。

妙高高原北小ABCD

- A : あたり前のことを
- B : ばかにしないで
- C : ちゃんとする人が
- D : できる人

グリーン活動

環境を大切にする気持ちを育てるため、また、授業や部活動のスキー練習でお世話になったスキー場に感謝の気持ちを表すため、6月9日に4年生以上の子どもたちがクリーン活動を行いました。場所は、赤倉観光ホテルのスキー場と赤倉温泉スキー場です。

活動を始める前に、まずは始めの会。今日、ここにきた目的をお互いに確認しました。その後、作業開始！道なき道に分け入ったり、上空にあるリフトのケーブルをたどったり、時間の限り作業を続けてきました。「今年はゴミがあんまりないなあ」「でも、ゴミがないのはいいことだね」「すごい大物を見つけたよ」…。子どもたちの声が、妙高山の麓に響きました。



始めの会



作業終了！ 妙高山をバックに



最後にはこんなにたくさんのゴミが・・・

すこやか集会

今年も7月3日から、自分で課題やめあてを設定し、健康習慣を身につけるための「すこやかウィーク」を実施します。先日、この取組をより充実させるため、どうやったら自分の課題が解決できるのかを具体的に考えるための「すこやか集会」を実施しました。

当日は、課題ごとにスペシャリスト(講師)をお招きし、1年生から6年生まで、全部で9つのグループに分かれ、講師の話を聞いたり、同じ課題で集まった友達と



意見交換したりして、来たるべき「すこやかウィーク」の作戦を考えました。

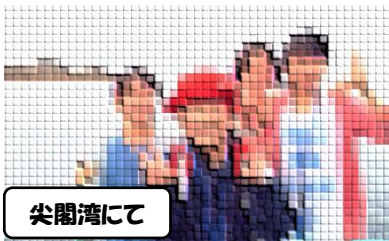
翌日、ある子どもが「先生、きのうゲームの時間が守れましたよ！」と声をかけてきました。「へえ、すごいなあ。どの作戦を使ったの？」と尋ねると、「それはヒ・ミ・ツ」だそうです。

すこやかウィークの取組と成果に期待しています。



6年宿泊体験学習

「佐渡の文化を感じてくる」「普段一緒にいる友達のよさを発見してくる」この2つが、今年の6年生の旅の目的です。天候が心配されたものの、1年生が6年生のために作ってくれた「てるてる坊主」のご利益か、1回も傘をさすことなく全日程を満喫してきました。



尖閣湾にて



何かいるよ



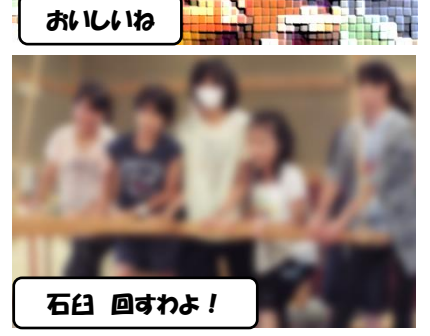
かにゲット



おいしいね



頭が高い!



石臼 回すわよ!



思い切り 太鼓を...



真剣!



気分最高!



佐渡といえぼ...

ゆったりした日程の中で、子どもたちは佐渡の文化にどっぷりつかってきました。また、いつもは学校での姿しか知らない友達と3日間ずっと一緒に過ごす中で、友達の新しい面を発見したようです。また、私たち引率職員も、普段は目にする事のないように触れることができ、改めて高原北小の子どもたちのよさ、そして改善していきたい課題を見いだしてきました。子どもも職員も、この3日間の体験を今後の学校生活に必ず生かしていきます。

命の大切さ

「子どもたちの死に対するハードルが低くなってきた」。この言葉は、生徒指導に関する様々な研修会に参加して、最近よく耳にする言葉です。実際に子どもたちを見ていると、「それをしてらどうなるか、その先のことを考えずに、興味のままに行動してしまう」様子が見られることもあり、そのような行動には怖さを感じることもあります。

皆様も既にご存知のように、6月中に中越、下越地方において中学生・高校生が自殺するという事件が続きました。本当に心が痛みます。私たち職員は、小学生だからまさか・・・などと悠長に考えることはできません。決して他山の石とすることのないよう、細心の注意を払って目の前にいる子どもたちの様子を見ていこうと、全職員で再確認しました。

まずは、学級活動の時間に全学年で「命の大切」を認識するような授業に取り組みます。命はかけがえのないもの、たった一つしかないもの、なにより貴重なものであることを再度指導していきます。また、先日から実施してきた子ども全員との教育相談の結果を全職員で共有し、対応が必要な子どもには、家庭にお知らせするとともに、複数の職員でケアや指導にあたります。

命を大切にするという気持ちを育てることは、決して学校だけではできません。ぜひ、ご家庭でも折に触れ、命の大切さについて子どもたちと話をしてください。あなたが大切な子どもであるということを言葉や態度で伝えていってください。また、お子さんに普段と違う様子や行動が見られたら、どうぞ学校にもお知らせください。家庭と学校で情報を共有して、一緒に見守っていきましょう。

恐ろしいことですが、現代はネット検索すると死に関する様々な情報が簡単に手に入る時代です。こんな時代だからこそ、周りにある何気ない自然の美しさに触れたり、一緒に汗を流して体を動かして遊んだり、思っていることを実際に言葉に出して言い合ったりする体験を大切にしていましょ。学校でも、単に知識としての命の大切を訴えるだけでなく、積み重ねることで自然に子どもたちに中に命の大切さが意識されるような体験を今後も実施していきます。負の連鎖とならないよう、力を合わせていましょ。

7・8月の 行事予定

いよいよ1学期のまとめの時期を迎えます。子どもたちが楽しみにしている夏休みも近づいてきました。

7/3日(月)	ぐんぐん学習ウィーク開始 すこやかウィーク開始	17日(月)	海の日
4日(火)	全校朝会 学習参観日 期末PTA 救急法講習会	18日(火)	期末特別清掃(～20日)
6日(木)	4年校外学習 委員会(5・6年)	21日(金)	4限給食後放課
7日(金)	計算力テスト 夏の児童集会	24日(月)	1学期終業式 給食最終日
8日(土)	市PTA連合会研究大会妙高大会	25日(火)	夏季休業開始(～8/27)
10日(月)	あいさつの日 子ども健康づくり協議会(5・6年)	26日(木)	5年自然体験教室(～27日)
11日(火)	全校朝会 2年PTC	8/2日(水)	上越地区水泳大会
12日(水)	地区児童会	7日(月)	JRCトレセン(～8日)
13日(木)	クラブ 6年PTC	14日(月)	学校無人化(～15日)
14日(金)	臨時全校朝会	28日(月)	2学期始業式 給食開始
		29日(火)	全校朝会 発育測定(低)
		30日(水)	発育測定(中)
		31日(木)	フリー参観日 クラブ